

1. 園児の確保

(1) 入所児童の状況

各月初日在籍園児数

	定員	組数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	6	1	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳児	9	1	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
2歳児	10	1	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
3歳児	10	1	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
4歳児	12	1	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
5歳児	13	1	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
計	60	6	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	792

入退所状況

1年間移動なし

(2) PRの方法

①	要覧の改定;ホームページの保育内容の掲載により園の充実感が伝わり、効果を上げた。
②	夕涼み会、運動会の機会に同窓会を催し、在園児と一緒に過ごすことで、保育者、地域の方々への安心感を持ってもらった。
③	園行事、堰堤解放での親子のくつろぎ、臨床心理士による子育て相談、また年3回のミニ井戸端会議の機会をもつことで、園への信頼感をより大きく深くもってもらった。
④	藤井寺市広報は市民の方はよく見ておられ、電話での問い合わせが多い。
⑤	園見学の来園者に園の環境、体系的保育、保育内容を詳しく説明することで理解して頂いた。

(3) 入園方法

①	藤井寺市役所の保育幼稚園課で入所決定後、当園で親子面接で入園の不安を軽減するように綿密な話し合いをした。
---	--

2. 教育・研究の推進

(1) 保育目標

①	”子どもは宝”を基本理念とし、職員一同、相互理解、共有し、子どもと愉しく園生活をおくれるよう自己評価とともに、保育の物理的環境、人的環境を調えることができるように、また入園児の中で二人の少しハンディのある子どもが含まれているが非常勤保育士を雇い入れ職員同士の協力をすすめがら保育を行え、保護者の自己受容も進んだ。
---	--

(2) 研究課題

①	子育て支援の計画を密にすることにより、親／養育者—子関係、養育者同士のつながりが豊かになり、楽しみに来園する方が多くあった。
②	平成 24、25 年度園内研究のまとめを平成 26 年 6 月に幼児発達研究会で発表し、環境の充実が子ども一人ひとりの感性を育むことを示すことができた。また”伝承遊び”を継続して実践し研究に取り入れることで保育者一人ひとりのスキルアップができた。

3. 人事・組織

職員構成

職種	26年度	備考
園長	1	
主任	1	
専任保育士	9	内1名 特別常勤
兼任保育士	5	
専任職員	1	事務
兼任職員	1	
合計	17	
調理担当	3	業務委託;内2人は午前午後のみ

4. 施設設備の整備

① 教育研究用機器、備品

ハンドドラムを取り入れることにより、演奏の幅が広がり表現力が豊かになった。

② その他

茶道道具の充実により保育者の環境の調べ方が円滑になり、園児の集中力が増した。

5. 収支状況

別
紙

6. その他

①	早朝 7 時 30 分、夕方 18 時 30 分から 19 時 30 分の延長保育利用者が増えてきたが、延長保育内容の充実や保育者のかかわり方の工夫により、寂しさを感じないようにした。
②	親と子の支援活動;バラエティに富んだ計画とゆったり過ごす時間の中で親同士のコミュニケーションがとれたり茶道体験の日本文化を味わえることに喜びを感じたり、園児との交流が少子化の寂しさを和らげたりと利用者から好評だった。
③	理事長先生による絵画指導は保育者も勉強になり、子どもの発想力を高めることができた。また体育講師の細やか

	な子どもへの関わり方、保育道具の取り扱い方を教えてもらうことで、子どもの体力の向上につながり、保育者の資質も高まった。
④	茶道体験は「静」のなかで互いのことを思いながら日本の伝統文化を知らせ、年長児は、年中児のあこがれをもったり、修了式で保護者にお点前を披露したりすることにより、感謝と共に親子の情緒安定につながった。
⑤	ハンドドラム、バンブーダンス、縄跳びの充実、伝承遊び(お手玉)の環境が、保育者自身の質の向上と共に子どもの環境構成の工夫につながった。
⑥	ふじの子第二保育園が平成 27 年度 4 月開演にあたって準備に取り組み、保育者間のコミュニケーション能力が高まり、各人の責任能力が高まった。
⑦	リトミック、英語が新しい講師とのやりとりを楽しんだ。